

平成25年11月26日

25年度役員19名各位

ⓧ 委員

逆瀬台小学校区まちづくり協議会
「ゆずり葉コミュニティ」
会長 中村 一雄
TEL 72-5644

逆瀬台小学校区まちづくり協議会「ゆずり葉コミュニティ」

12月度役員会開催のお知らせ (ご案内)

ご多忙のところ、万障繰合わせの上ご出席の程、よろしく申し上げます。

日 時：平成25年12月1日（日） 10:00～12:00

場 所：逆瀬台小学校内 「ゆずり葉コミュニティルーム」

《 議 題 》

報 告

- (1) 10/6(日)、10月度定時役員会・ネットワーク会議議事録 (鬼頭書記)
資料 1～2/4頁
- (2) 11/6(水)、「まちづくり協議会代表者交流会」第4回報告書について (黄地役員)
資料 3～4/4頁
- (3) 「アトム防犯の家及び“アトム”関係の防犯事業」について (黄地役員)
～現状と評価、問題点、活用方法・アイデア、等について～
- (4) 市立中央公民館の移転問題について (会長)
- (5) 宝塚市自治会連合会・第2地区自治会連合会の報告について (会長)
- (6) 12/23(月・祝)「第9回宝塚ハーフマラソン大会」従事ボランティアについて (会長)
- (7) 1/1付発行の「ゆずり葉だより」新春第74号について (事務局長)
引き取り⇒12/22(日)10:00～11:00

議 案

- (1) 11/24(日)阪急逆瀬台マンション自治会設立の臨時総会について (事務局長)
- (2) 逆瀬川パークマンション管理組合の役員交替について (会長)
★
- (3) 平成26年度会長の選出案 (会長)

** その他事項について

以 上

平成 25 年 10 月 6 日
逆瀬台小学校区まちづくり協議会
「ゆずり葉コミュニティ」
書記 鬼頭 勝

「平成 25 年 10 月度役員会」議事録

日時 平成 25 年 10 月 6 日（日） 11：20～12：00
場所 ゆずり葉コミュニティルーム
出席者 議決権者 中村、千秋、石谷、由利、河野、黄地、徳高、鯛谷、桜井
大久保、上村、江浦、高坂、遠藤、鬼頭
非議決権者 石田、西沢、澤田、広瀬

< 議題 >

報 告

(1) 8 月度定時役員会議事録

中村会長から、上記議事録について資料 2～3/9 頁に記載の通りであり、問題ないと思うので説明は省略したい旨申し出があり、了承された。

(2) 中村会長から、9/11（水）に開催された第 3 回「まちづくり協議会代表者交流会」について、資料 4～5/9 頁に基づき報告があった。

(3) 中村会長から 8/31（土）に開催された宝塚市第 2 地区連合会第 4 回（臨時）役員会について、資料 6 /9 頁に基づき、主として自治会役員名簿未提出先とのトラブルと対処等の報告があった。

(4) 中村会長から、9/14（土）に開催された第 2 地区自治会連合会第 5 回役員会について、資料 7/9 頁に基づき、主として自治会設立を手助けするための説明会を、ザ・宝塚タワーマンションに続き、アヴェルデ、パークマンション、逆瀬台マンションでも実施してゆく旨の報告があった。

(5) 中村会長から、10/21（月）午後「宝塚高校生とのクリーンハイキング」をアヴェルデから西山住宅付近の裏山で開催するとの案内と参加依頼があった。同校ボランティア部の学生が 3～40 名参加する予定。桜守のグループにも協力を要請する。

(6) 中村会長から、「逆小校区の自治組織の確立」について資料 9/9 頁に基づき説明があった。エデンの園は準会員扱い。

(7) 1/1 付発行の「ゆずり葉だより」新春第 74 号について

石谷事務局長から、原稿締め切りが 11/17 になった事と、同号の引取りが 12/22（日）10 時～ となる旨の説明があった。

以上

逆小校区「福祉ネットワーク会議」会議録

日 時 : 平成 25 年 10 月 6 日 10:00~11:20
場 所 : ゆずり葉コミュニティルーム
出席者 : 民生・児童委員 加藤、白井、戸田、小橋、村田、友田、梶
(順不同) 逆小 P T A オリビエ、粕川、堀口、辻本
宝塚市社協 谷口、埜下
逆瀬川包括 大浦
事業者 松岡 (リツケア)、森本 (リツネス逆瀬台)
コミュニティ 中村、千秋、石谷、河野、由利、黄地、徳高、鯛谷、高坂、
大久保、遠藤、石田、澤田、上村、江浦、広瀬、桜井、
西沢、鬼頭

内 容

1. 自己紹介 参加者全員 35 名の自己紹介
2. 講話 : 第 5 次地域福祉推進計画「安全で安心な楽しいまちをみんなでつくろう」について、宝塚市社会福祉協議会西地区担当の谷口英嗣氏から配布資料に基づきわかり易い説明があった。併せて、見守り支えあいの仕組みづくりの実践事例として、白瀬川両岸集合住宅協議会の活動が紹介された。
3. 個別発言内容
 - ① ゆずり葉コミュニティ黄地役員 (光ガ丘自) から、まちづくり協議会代表者交流会での活動につき、今回は主として子供の見守りに関する事例発表と意見交換がなされた旨の報告があった。
 - ② 事業者を代表して、(株) リツケア松岡社長から、最近のヘルパー募集で、相当高い時給を提示しても、応募がない現状を考えると、無料のボランティア活動での対応にはかなり無理があるのではないかと。民間事業者の利用が必要な場合が出てくるのでは。1 人暮らしの家庭では、セコム監視システムの利用等も一策なのではとの話があり、監視方法や費用面等の紹介があった。
 - ③ ゆずり葉コミュニティ徳高役員 (光ガ丘自) から、宝塚市は悪徳商法・詐欺被害が全国第 3 位以内にあるので、その実態を広く知らせ、住民を守るための勉強会を開催してはどうかとの提案が配布資料に基づき、なされた。
 - ④ 「知ら・咲か」事務局長石田氏 (逆瀬川 M) から、今年 4 月発足以降の「知ら・咲か」の活動状況と事業内容、会員募集状況等についての報告があった。
 - ⑤ 民生・児童委員
民生・児童委員から、児童虐待、児童見守り他の話があった。
 - ⑥ PTA
PTA から、児童の集団登下校時の特殊児童の扱いに関する問題提起があり、社協や保護者、地域の 3 者で相談し解決を図ってゆく方針を確認した。

以上

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会(平成25年度・第4回) 報告

日 時 平成25年11月6日(水) 14:00~16:00
場 所 市役所3階 特別会議室

出席者 下記以外のまちづくり協議会(18)
傍聴者1名
市民協働推進課 梶原課長、水野副課長、吉岡係長、後藤

欠席者 良元小学校区まちづくり協議会 西谷地区まちづくり協議会

議事概要(要旨)

1 子供見の見守りに関するアトム110番制度の役割について

アトム110番制度について、高齢で対応できないとか、不要な設置場所についてはどのように対応されているのか、統括している青少年センターで話を聞いてきた。

アトム110番制度は、神戸で児童の連続殺傷事件があり、これを機に宝塚でも平成9年からスタートしている。子供の安全と生命を守るということで、学校だけではなく、育友会、PTA、地域も協力し連携している。最近 武庫川左岸で痴漢行為とか児童が暴行を受ける事件があり、アトム110番に連絡が入り対応している。連絡所の選定方法は、青少年センターから、各学校へアトム110番に協力できる家庭に案内をするという形になっている。一年ごと年度末に青少年センターから、学校を通して協力した家庭にお礼の手紙と次年度継続のお願いをしている。辞退する場合も、学校を通して青少年センターに連絡が入り、登録先を削除している。見直しについては、インターネットで学校を通して行う。

まちづくり協議会の子供の安全や見守りは、アトム110番を通して学校との連携が必要である。学校を経由して各地域でいろいろなやり方があるが、学校からPTAや育友会の役員を通していく場合と、学校とまちづくり協議会や地域の自治会を通していく場合がある。もうひとつは直接青少年センターへ連絡ができるが、これは例外だ。流れは青少年センターから学校、地域へとなっていて、青少年センターが統括している。

2 地域での小学校との連携について

- 子供は地域で守るので、住民と学校と自治会で話し合いをしている
- 子供の安全と環境をテーマに掲げてパトロールを行い、小学校の許可がでて市道路担当課と協議して危険な通学路の見直しをした
- 幼稚園の移転に伴い通学路を、先生、地域の方と歩いて確認する計画がある
- 子供の見守りは、自治会、育友会が中心になって行なっているところが多い
- 犯罪の未然防止のために防犯カメラの設置が必要だが、管理と場所の確認と助成金が必要
- 年一回 PTAの愛護部と通学路の危険場所を確認しているが、見直しにはまちづくり協議会がバックアップしている
- 各小学校に安全対策委員会が設置されていて、情報を共有している
- 放課後に帰宅しても留守の時は、待機児童を預かる会があるが人数が年々増えている
- 子供見守り隊があり、登録者が学校に集まって状況を聞いている
- 毎月 自治会長、PTA、愛護部、校長、園長で情報交換をしている
- 子供見守り安全の声かけは、ほとんど各自治会が関与し、子供達の顔色を見て虐待問題にも対応している

→裏面に続く

- 坂道なので交通事故防止をするため、通学路の整備をして30キロ制限にした
- 学校が荒れた時に、コミュニティで青パトを立ち上げて問題の解決に対応した

○「アトムの家」について

- ・ステッカーは貼ってあるが、高齢者の場合は対応できないので、学校とまちづくり協議会で制度の見直しをする
- ・年一回 校長がステッカーの貼ってあるところに挨拶に行く学校もあるが、地域によって差がある
- ・ステッカーは貼ってあるが、不在が多く家に入れない状況がある
- ・制度は認識しているが、いざという時に機能するかが問題
- ・駆け込んだ事例があり、子どもが守られたかどうかの検証がされていないので、身近に感じられない
- ・ステッカーの貼りっぱなしが現状ではないか
- ・事例として、帰宅できない子供がアトム110番によって無事に帰宅できたので必要だと実感した
- ・まちづくり協議会と自治会の防犯システムとが連携されていないのではないかと
- ・当初は機能を期待していたが、今はこれがあることよっての警告の意味はあるが、防止効果はないのではないかと
- ・入学時に新入生と先生、育友会を交えてコース回りをしている
- ・子供達は何かあったら、人がいるお店やマンションなどのフロントに駆け込む意識を持っていて、ステッカーの意識はないのではないかと
- ・今後 学校を中心にもっと広めていけば、子供の相談や安全が守られるのではないかと
- ・PTAを中心に地域を確認して、安全・安心魅力マップを作成している
- ・通学見守り委員に「アトム110番」のタスキをかけているところもあるので、広めていったらどうか
- ・市として立ち上げて形としてはあるが、地域の中に溶け込んでいない
- ・新規に参加してくれる人が少ないので、高齢にもかかわらず継続している

3 各まちづくり協議会の取り組み状況の報告について (8月～11月)

各まち協でのイベントや、皆様にお知らせしたい事などを、ひとつづつお話し頂きました。

4 その他

- 自治会連合会より
親睦交流会に全員参加のお誘いがありました。

5 行政連絡

- 都市計画課より「宝塚市景観フォーラム」が、ソリオホールにて11月16日(土)14時から開催されます。

- NPOセンターより
ユープともしびボランティア団体と一緒に振興助成金の説明会をします

※次回の日程

日 時	平成 26 年 1 月 15 日 (水) 14 時～16 時
場 所	西公民館 3 0 1 学習室 (阪急小林駅) (各地区の自治会連合会等と重なった場合は、変更になることも有ります。予めご了承下さい)
主なテーマ	「アトム連絡所」をどう生かしていくか